

Mokutaidai

木耐協

マンスリーレポート

2023.2
vol.
290

特集 **エコプロ2022**に
木耐協が初出展!



今号の表紙 愛知県犬山市の博物館 明治村に建つ宇治山田郵便局舎（重要文化財）は、円錐ドーム型屋根の中央棟、左右に小ドームを載せた塔屋、東西翼屋からなる独特の平面形状を持つ洋風デザインの建物です。1909（明治42）年に伊勢神宮外宮前に建てられ、1969（昭和44）年に明治村に移築されました。約4年かけて耐震補強や銅板屋根の葺き替えなどを実施し、2022年11月から一般公開を再開。カウンター、郵便物の発着口、切手倉庫など当時の郵便局の各機能を知ることができます。

URL・写真提供：博物館 明治村
博物館 明治村ホームページ内「宇治山田郵便局舎」紹介ページ
<https://www.meijimura.com/>



▲「公衆室」と呼ばれる円形のホールに設置された私書箱と窓口



▲切手倉庫。史料に基づき当初の構造であるレンガ積みに復原した



**木耐協のブースにも多くの来場者が!!
住宅の模型や耐震年表が来場者の目を引きつけました**



▲班単位の行動では引率の先生も一緒に聞いてくれました

▶熱心にデモンストレーションを見入ってくれました

木耐協ブースでは、住宅の模型展示と耐震年表の大きな掲示で、地震・耐震というキーワードで呼び込みを行い、81-00をあしらったマスクを着用して対応しました。小学生は揺れる住宅模型に興味津々な様子で足を止め、壁が何もない状態では大きく揺れてしまう模型を、筋かいや面材を使って耐震補強を体験。学生からは「対角線に配置した方がいいのでは?」「筋かいって何ですか?」、といった声がかかりました。

補強後に揺れなくなると、子どもも大人も一緒に「おお」と驚いていたことから、「リフォームで住宅の耐震性を高める」「耐震補強」が認知されていないことがわかりました。また、耐震年表をスマホやタブレットPCなどで撮影し、熱心に確認する方も多くいらっしゃいました。



▲エコプロのために制作した81-00マスク

▲大学生も立ち寄ってくれました

▲するどい質問をしるお子さんもいました

▲自宅の耐震性をチェックする年表

▲模型や耐震診断・補強の説明を掲示

**531人の方にアンケートに答えてもらいました
その結果、社会人の3割が「81-00住宅」に居住**

耐震化の主流は「旧耐震」から「81-00住宅」へ

ブースを尋ねてくれた来場者に簡単なアンケートを行い、回答者には81-00ピンバッジを差し上げました。アンケートでは、住まいが戸建てか集合住宅か、築年数が現行耐震/81-00/旧耐震かに分けてシールを貼ってもらいました。その結果、3日間で合計531人がアンケートに回答。次の傾向が見えてきました。

● 回答者の75%が学生、25%が社会人

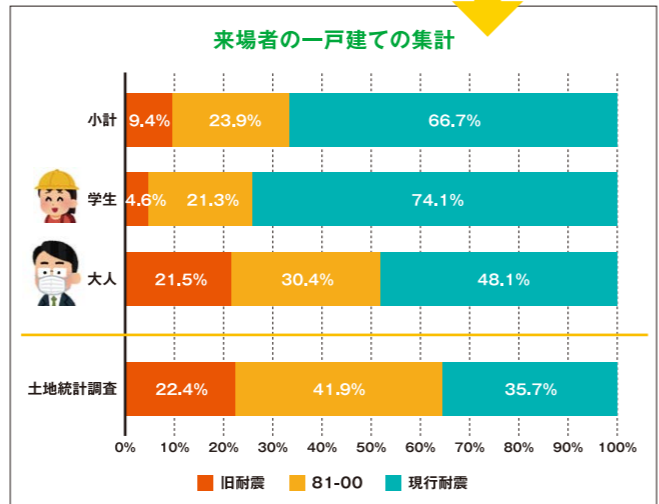
● 社会人の3割は81-00住宅に居住し、学生の大半は現行耐震に居住

学生は生まれた時に親が新築した家に住んでいるケースが多いようです。平成30年の土地統計調査によると、日本全国で81-00住宅に住む人は42%、旧耐震は22%とその約半分です。で、今後の耐震リフォーム市場は81-00住宅にあると考えられています。



▲「かわいい」、「これいいね」と好評だった81-00ピンバッジ。その場で靴につけてくれる人もいました

▶アンケートボードにお住まいの家についてシールを貼ってもらいました



多種多様な業界の企業が出展し、来場者の年齢層も幅広く、活気に満ちていました。
次ページでは、他団体のブースの一部をご紹介します。

【特集】 次世代のトレンドが詰まった3日間

**エコプロ2022に
木耐協が初出展!**

2022年12月に開催された「エコプロ2022」に木耐協が初出展しました。ブースの展示では「81-00住宅」の耐震化の必要性と、建替えよりも耐震リフォームをして長く住み続けることが環境負荷も少ない点をPRしました。小学生から社会人まで幅広い来場者の熱気に溢れた3日間の様子を特集します。



**約6万人が来場したエコプロ2022
SDGsに取り組む企業が一同に介する一大イベント**



環境問題とSDGsに向き合った企業が集った展示会・エコプロは、内閣府や経済産業省、東京都など自治体の後援もあり、国土交通省の齊藤大臣や小池都知事もセミナーに登壇するなど、官民一体となったイベントです。

これまで住宅業界の展示会では、

出展企業の固定化や規模縮小などを感じることもありましたが、12月7日〜9日に開催された第24回エコプロには、3日間で約6万人超が来場。社会人の他に小中高生が大型バスで来場し、多くのブースで積極的に取材している姿もあり、場内は活気に溢れていました。

エコプロ 開催概要

名称: エコプロ [第24回]
会場: 東京ビッグサイト 東4~6ホール
会期: 2022年12月7日(水)~9日(金) 10:00~17:00
主催: (一社)サステナブル経営推進機構 日本経済新聞社
来場者: 累計61,541人

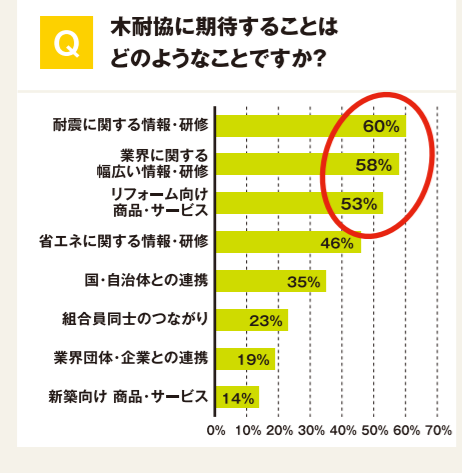


▲各社工夫をこらしたブース

▲多くの来場者が詰めかけていました

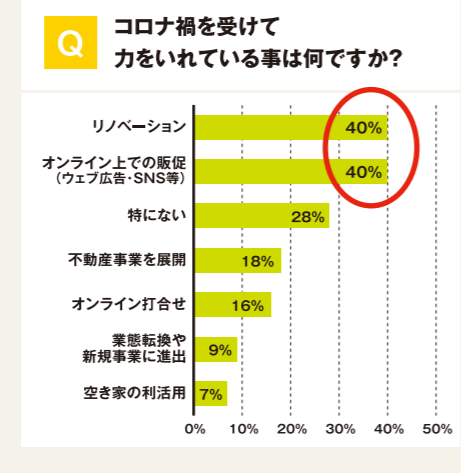
データ 2
木耐協に期待することは「耐震」「業界情報」「リフォーム関連」の情報・研修

木耐協に期待することを伺いました。50%を超える回答をいただいたのが「耐震に関する情報・研修」、「業界に関する幅広い情報・研修」、「リフォーム向け 商品・サービス」でした。次いで「省エネに関する情報・研修」となっており、耐震と業界情報に加えて省エネの情報への関心が高い結果となりました。



データ 1
コロナ禍を受けて4割の組合員様がWEB販促やリノベーションに注力

2019年12月頃から始まったコロナ禍で、注力されていることを伺ったところ、4割の組合員様が「リノベーション」や「オンライン上での販促」を挙げられました。販促ではオンラインの活用が積極的な一方、打合せでの利用は16%に留まり、オンラインの活用の上ではバラツキがありました。



木耐協 あ・れ・こ・れ 寄稿

2022年度 木耐協組合員様アンケート報告

ご協力ありがとうございました！
木耐協では2010年より2年に1度、組合員の皆様にご協力いただいたアンケートを行っています。昨年11月に協力いただいたアンケートでは売上高等の基本情報に加えて「コロナ禍を受けた対応やお困り事、木耐協へ期待すること」等を伺いました。今回はそのアンケート集計の一部をご紹介します。

寄せられたご意見

行政との連携を取って頂き、補助金等に対応できる資格認定を受けて欲しい。

コロナの状況を見ながら、各エリアでのオンライン(対面)講習会もよろしく願っています。

一日も早く、各自治体が、81-00の診断・設計・改修工事の補助金制度認可を、進めてくれれば良いと思います。それと、各自治体の手続き要領がバラバラで、ややこしすぎます！

データ 3
数字でみる木耐協組合員の平均的な事業規模

	平均値	中央値
社員数	54	8
売上高	9億5,766万円	2億5,000万円
リフォーム売上金額	4億8,120万円	7,500万円
リフォーム件数	487件	50件
リフォーム単価	98万円	150万円

※総売上高、社員数、リフォームの受注件数については伺いません。売上高は平均値では、9億5766万円ですが、有効回答57の真ん中となる中央値で見ると2.5億円でした。同じく中央値で見ると、社員数は8人、リフォーム売上高は7500万円、年間受注件数50件(1件当たり150万円)でした。

回答数:57

いただいたアンケート内容を踏まえてよりよい研修・サービスなどを企画発信して参ります。なお、今回掲載できなかった項目については次号以降で紹介する予定です。

どこもかしこも人・人・人 様々な業種の出展があるも、住宅業界はごく小数

住宅業界からの出展 (公財) インテリア産業協会様

セミナーも立ち見が出るほど大盛況

住宅業界にとってもSDGsは重要なテーマ

幅広い年齢層が参加したエコプロ

木を使うことで社会課題の解決を目指す活動を表彰した「ウッドデザイン賞2022」受賞作品も展示

なんと小学校の出展も

皆さん、熱心に回っていました

学生さんも社会人も入り乱れる場内

様々な大学が研究室単位などで出展

なんと小学校の出展も

学生さんも社会人も入り乱れる場内

木を使うことで社会課題の解決を目指す活動を表彰した「ウッドデザイン賞2022」受賞作品も展示

皆さん、熱心に回っていました

幅広い年齢層が参加したエコプロ

住宅業界にとってもSDGsは重要なテーマ

セミナーも立ち見が出るほど大盛況

住宅業界からの出展 (公財) インテリア産業協会様

どこもかしこも人・人・人 様々な業種の出展があるも、住宅業界はごく小数

事務局長が行って来ました!

不定期連載
No.06

これまであまりお伝えしていなかった木耐協事務局の活動裏話を時々お届けします

▶ これからは在宅避難の時代! 防災の全てが詰まった「TOKAI GQハウス」を見学しました!

地震・台風・大雨・大雪など、自然災害によってライフラインがストップした場合でも、雨水と太陽光を使用して水と電気を自給自足することで普段と同じ暮らしが可能になる住宅。株式会社TOKAIが開発する、最先端の技術が詰まった住生活プロジェクト、「GQ(ジーク)ハウス」の

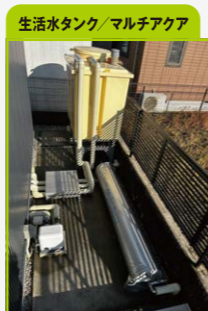
コンセプトハウス(静岡県島田市)を見学してきました。雨水だけでなく生活排水も浄化装置で再利用可能にすることで水道水に頼らず、太陽光パネルで発電した電気を大容量蓄電池に蓄えて貯る。水と電気を自給(GQ)する、高品質(Gain Quality)な住宅です。



▲大容量の蓄電池で年間を通して安定的に電力を確保することができます



GQハウス全貌



▲浄化した生活水を貯めておくタンク(奥)／リフォームにも活用できる、150ℓの上水道貯水タンク(マルチアクア)



開発者の声

水と電気を上手にまかなえる設計・デザインであることはもちろん、それらの使用量を抑えるために構造・設備などにもこだわっています。2017年から実証実験を行っているGQコンセプトハウスを、ぜひ一度ご覧ください。

株式会社TOKAI 事業開発推進部 部長 武内 淳氏

雨水タンク(12,000ℓ)



▲雨水タンクには12,000リットルの貯水が可能、降水量が少ない月も4人家族が安心できる水量

▶ 木耐協／防災リフォームパッケージを展開 太陽光と蓄電池／水を備える!

木耐協では、株式会社TOKAIおよび清水英雄事務所株式会社の協力のもと、防災リフォームパッケージを展開いたします。既に2022年12月6日(火)にオンライン説明会を開催し、多くの組合員様にご参加いただきました。2023年2月にはGQハウス見学会を行いますので、ぜひご参加ください!

GQハウス見学会 開催決定

日程:
2023年
2月10日(金)
場所:
静岡県島田市



木耐協事務局長
関 励介

2002年から木耐協入り。組合運営や国・団体対応を担当。ゴルフ好き

今後も様々な動きをお知らせしますので、ご期待?ください!

2023年
2月号
第17回

「木造住宅の耐震診断と補強方法」のポイントを解説! 木耐協 技術部の技術通信

耐震診断の方法をまとめた日本建築防災協会発行「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」とホームページで公開されている「質問・回答集」の中で、抑えておくべきポイントを取り上げてご紹介いたします。

適用範囲 第3章 一般診断法<必要耐力> Q3.54 (p.11)

Q 浴室などで腰壁がRC造やコンクリートブロック(CB)造(の上)にある壁の耐力は評価できるのか?

A 上部の壁がその性能を発揮する前に腰壁が壊れないと判断できれば評価して構わない。このときの上部の壁の耐力については実況に応じ危険側とならないよう適切に判断してください。

■ 考察

面材でなく、筋かいの場合では筋かいの傾きがゆるくなる分、水平方向分力の割合が高まるために柱ホゾの「せん断破壊」や土台・横架材の「材端部破壊」を引き起こす危険も増すので、実務的には要注意です。下部腰壁部分についてはRCなら問題なく、コンクリートブロックのときは「重量ブロックで縦筋有り」位までは評価可でしょうか。鉄筋無しのブロックでは「目地モルタル」の劣化から耐力が期待できない危惧がありますので、慎重に。補助金案件の場合は、評価方法について自治体への事前確認をしていただいた方が良いでしょう。

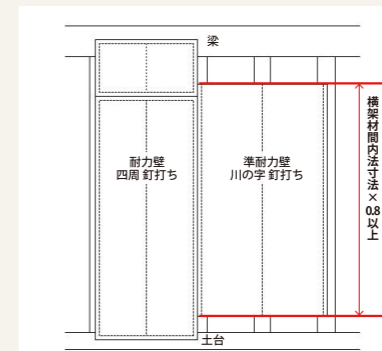
適用範囲 第3章 一般診断法<必要耐力> Q3.55 (p.11)

Q 「準耐力壁仕様」とはどのような仕様ですか?

A 「住宅の品質確保の促進に関する法律(品確法)」に基づく【評価基準】(平成13年国交省告示第1347号)の「第5の1-1の(3)のホの①の表1」で定義されている仕様を指しています。

■ 考察

準耐力壁の定義は「川の字釘打ち」で「面材高さが横架材間内法寸法の80%以上」とされています(右図参照)。なお、釘の本数や間隔等の詳細は、「解説編」のp.67以降の表をご覧ください。



今月のテーマ

「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の質問・回答集 ⑭

今月のポイント

RC造・CB造上にある耐力壁の評価は慎重に
土台・梁まで到達していない壁も一定条件を満たせば評価可能



木耐協技術部 | 駒井隆広

木耐協では昨年、ミライミーティングなども実施し、組合員様とお会いできる機会も少しずつ増えました。今年はいよいよ多くの皆様とお会いできることを楽しみにしております。本年もよろしくお願いたします。

→ 技術的な質問や相談をお送りください

Mail mts@mokutaikyo.com

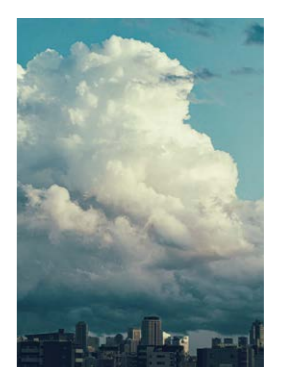
Tel 048-224-8316 (木耐協事務局)

News
 今月の事件簿★木耐協24時
屋根工事の養生シートがめくれ大雨が浸水

2008年に「ゲリラ豪雨」が流行語大賞の候補になって以降、日本全国でゲリラ豪雨や線上降水帯による被害が相次いで起きています。気象庁では1時間に50mm以上80mm未満の雨を「非常に激しい雨」と表現し、具体的には「傘が全く



役に立たない」「車の運転は危険」といった状態を指す。今回の事件は、そんなゲリラ豪雨が冬に発生したことで起きた。天気予報で「翌日は大雨になる」ということは知っていたA工務店。屋根改修の現場で葺き替え中だったので養生は行ったが、「今は冬で台風シーズンや真夏でもない。そこまでの大雨にはならないだろう」と、A工務店にはどこか心の



中に油断があった。いざ雨が降り始めると、大雨に加えて猛烈な強風が吹き荒れた。嵐が過ぎ去った後、工事現場にはいると、養生シートがめくれあがり、屋内が水浸しとなってしまっていた。本件では、浸水した部屋の天井・壁の補修だけでなく、濡れて使えなくなった家財の賠償を求め

られた。幸い、工事保険の適用となったため金銭面での負担は軽減されたが、お客様の信用は失墜し、事故対応で多くの労力もかかる結果となってしまった。ゲリラ豪雨などの大雨による損害は一瞬で数百万円もの損害につながることもある。昨今の気象は激甚化し、今までの常識では計りきれない被害となる可能性がある。自然災害の対策は気を緩めずに行うことが重要なのである。

今月の教訓
 ▼季節に関係なく、養生シートは耐風性の高い製品を採用
 ▼豪雨に伴う事故は被害額が大きく、対応期間も長い傾向

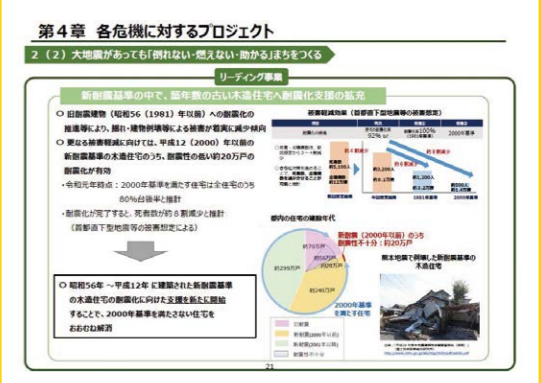
News & Topics

東京都 長期防災計画で「81-00木造住宅」耐震化推進

東京都は、この度2023年度から2040年代までの長期防災計画「TOKYO強靱化プロジェクト」を発表しました。地震、風水害、噴火、電力・通信の途絶、感染症の被害想定や対策などをまとめ、「地震」では、9兆5千億円の事業費を支出する予定。2000年以前の現行の耐震基準を満たさない木造住宅の内、耐震性の低い約20万戸を中心に耐震化を進め、耐震化率を40年代までに100%に引き上げる目標を掲げました。

木耐協がプロジェクトとして進める「81-00木造住宅」が、都の補助の対象になる見通しです。追い風となる動き、ぜひ注目しましょう。

TOKYO強靱化プロジェクト ホームページ
<https://www.seisakukakaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/kyoujinkaproject/>



住宅コンサルタント清水大悟が解説!
**これから
 どうなる?
 住宅産業界**

▼住宅産業界をとりまく状況は刻一刻と動いています。人々の住まいに関わる住宅産業界として、知っておきたい時代の動きを住宅コンサルタントの清水大悟氏に解説していただきます。

No.18
**営業担当が
 知っている便利な
 スマートマナー**

人の魅力が大事な時代

WEBマーケティングが主力の時代では自社WEBサイトやSNSを活用した集客がメインとなっていましたが、これからは人と人との繋がりが実際に対面したときの好感度が重要になりそうです。「人は人から物を買う」という言

葉があるように、同じ商品・サービスであっても、どんな人から購入したか?それだけで買い手側の印象は様変わりします。

スマートマナーって何?

スマートマナーとは好感度に特化した時代に合わせたマナーです。

しきたりやルールを守ることを優先するのではなく、相手方の印象を第一に考えるマナーの在り方を指します。これには2種類あり「好感度を下げないマナー」と「好感度を上げるマナー」があります。

メラビアンの法則

スマートマナーで最も重要なことは「見た目」です。見た目に清潔感がなく、所作・立ち居振る舞いが整っていないと粗が目立ちます。メラビアンの法則では「人と人とのコミュニケーションにおいて、言語情報が7%、聴覚情報が38%、視覚情報が55%のウェイトで影響を与える」とされています。

挨拶をするときも、歩きながらするのではなく、一度立ち止まって会釈するだけでも丁寧さが際立ち喜ばれます。

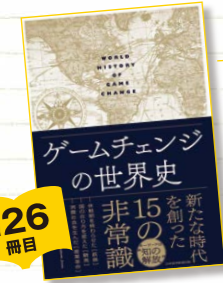
スマートマナーのポイント

- 相手からの「見え方」に気を付ける
- しきたりやルールよりもTPO(時・場所・場合)で考える
- 好感度を下げないだけでなく好感度を上げることも重要

プロフィール

清水 大悟
 事業・経営コンサルティング
 清水英雄事務所株式会社
 マネージングディレクター
 Twitter, InstagramなどSNSで情報発信中

〒114-0011 東京都北区昭和町1-9-18 ☎03-3810-1565
 清水英雄事務所WEB > <https://au-shimizu.co.jp/>
 雨と太陽で暮らす家。On The Spotコンソーシアム > <https://ots.amehiconso.jp/>



時代や地域ごとに
歴史的転換点を知る

Book

『ゲームチェンジの世界史』

今号の理事長オススメはこの一冊！



この本を、ひと言集約すれば、「歴史の世界旅行」。日本史にはいささか自信があっても、世界史は「どうも苦手」という方（私も）にピッタリの新刊です。約400万年前の最古の人類「アウストラロピテクス」に始まり、人類による世界の繁栄をその時代ごとにワンテーマを設け、16章に分けて解説したダイジェスト版ですが、世界の成り立ちの全体像が俯瞰できます。著者は進学塾で有名な河合塾の世界史講師。受験生に教えているだけあって、流石に分かり易く書かれています。「ゲームチェンジ」とは「時代が変わる」ということ。従来の枠組み・常識・ルールが全く通用しなくなる変革とは、実はゆっくりにだらかに変革するのではなく、引き金となるような出来事（きっかけ）が起こると「瞬間」で変

わるものだと解説します。それでも、大きな括弧で言えば「泰平の世（安定期）」と「激動の時代（変革期）」を繰り返して来ているとも。…。あながきでは「ひとたびゲームチェンジが起これば、旧に属する者は例外なく歴史によって抹殺される」とまで書いています。時代に抹殺されず生き残るためには

- 常に社会の動きにアンテナを張り、何が、旧で何が、新なのか自ら考えること
- 常日頃から己が、旧に属する者にならぬよう、新に向かつて舵を切ること
- 自分で新旧の判断が付かない場合は、時代の波（新）に乗った者について行くこと

が肝要だとい、「あながき」では読者に対して「この本の読後の行動が重要である」と本を締めています。本の中身より、この「あながき」が強く印象に残りました。

船井総研の船井幸雄氏は「商売とは、時流適応に尽きる」と言いましたが、現在の「時流」そのものを深く考え、先んじる勇気をいただきました。



『ゲームチェンジの世界史』
著者／神野正史
発行／日本経済新聞出版
価格／1,800円(税別)

事務局通信

●編集後記●

2023年はどんな年になるでしょうか。コロナ禍が続きますが昨年より良い年にしたいですね。東京都は81-00木造住宅の耐震化を推進する計画を出し、気象庁は「関東大震災から100年」の特設サイトを公開するなど、引き続き防災が注目される年になりそうです。組合員様の声を聴き、木耐協も変化していきます。本年もよろしく願いいたします。(渥美)

2023年耐震技術認定者講習会について

2023年は、eラーニングは2022年と同様4期で開催し、対面は東京・大阪で1回ずつの開催を予定しています。詳細が決まり次第、ホームページ・メールでご案内します。

■eラーニング

	お申込み開始	受講期間
第1期	2月	2月～3月
第2期	5月	5月～6月
第3期	8月	8月～9月
第4期	11月	11月～12月

■対面 6～7月に東京・大阪会場で1回ずつ開催予定です。

表紙に掲載した「博物館 明治村」のご案内

博物館 明治村では、今回の「宇治山田郵便局舎」だけでなく、重要文化財建造物11件を含む60件以上の建造物が移築・保存され、見学することができます。ぜひ、この機会に訪れてみてはいかがでしょうか。

所在地：愛知県犬山市宇内山1番地
電話番号：0568-67-0314
入材料金：大人2,000円
シニア（65歳以上）・大学生1,600円
開村時間・休村日：季節によって異なるためHPをご参照ください
URL：<https://www.meijimura.com/>



発行●国土交通大臣認可法人 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合
発行人●小野秀男 編集●関 励介、伊藤健三、渥美寿子
所 在●東京都千代田区麹町2-12-1グランアクス麹町2F tel 03・6261・2040 fax 03・6261・2041

木耐協メーカー賛助会員様からのご案内



【一般】建築物石綿含有 建材調査者講習

開講のご案内

本講習は、厚生労働省・国土交通省・環境省告示第1号に基づき、建築物に使用されている石綿に起因して発生する健康被害及び健康障害を未然に防止するため、建築物に使用されている石綿含有建材の使用実態について、中立的かつ公正に専門的な調査を行うことができる調査者の育成を目指すものです。

石綿障害予防規則の改正により、事業者は令和5年10月1日以降、建築物の解体又は改修の作業を行うときには、対象建築物等の石綿等使用有無についての調査が必要とされ、「建築物石綿含有建材調査者」に事前調査を行わせることが義務付けられます。

「建築物石綿含有建材調査者」とは、建築物石綿含有建材調査者講習を受講し、修了審査に合格した者とされており、上記の施行日までに講習を修了し、同調査者を確保しておく必要があります。

講習概要

【一般】建築物石綿含有建材調査者講習

一戸建て住宅などあらゆる建築物の事前調査ができるようになります。

■受講資格 本講習を受講するためには、受講資格が必要になります。

■期 間 2日間（9：30～18：00頃）

計11時間の講義終了後に行われる修了審査に合格した方には、修了証明書が付与されます。

■講習費用 一般：55,000円（税込）
石綿作業主任者技能講習修了者：49,500円（税込）※

※受講資格区分①の石綿作業主任者技能講習修了者は、免除科目が有るため講習費用が変わります。講習費用にはテキスト代及び修了審査代を含んでいます。

お申込み・開催スケジュール等の詳細はこちら→
<https://www.hips-school.jp/course/asbestos/>



株式会社ハウジングエージェンシー（インテリアスクールHIPS）
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-16-6 石綿講習事務局
TEL：03-3361-4076 mail：contact@housing-a.co.jp

ハウジング エージェンシー
厚生労働省 登録講習機関 登録番号13-12



▲「福岡県木造戸建住宅耐震改修事業者技術講習会」の北九州市会場にて田中社長と事務局の平井が講師として、事業者様に講習しました

組合員さん
～事務局員がおじゃまします～
こんにちは!



▶愛犬家へのPRに特化した専用ホームページ

株式会社 光栄建設様
(福岡県久留米市)

光栄建設様は、福岡県久留米市で地域密着型工務店として、新築をはじめに、耐震診断から補強提案、補強工事、水漏れ、雨漏りなどのちょっとしたトラブルまで様々な工事を手掛けています。2022年からは、新しいウエブ戦略にも着手されています。今後の展望について田中社長にお伺いしました。

**家を造るだけでなく
お客様の幸せに貢献したい**

ただ家を造るだけでなく、その先にお客様の幸せをプラスして生活空間を一緒に創造していける住まいづくりをしたいと思います。『house plus+』という屋号を付けられました。そうした思いを実現するための提案の一つとして、思い当たったのが愛犬家住宅でした。家族の一員である犬も人間同様に家族の一員であり、大切な存在だと考えておられる方が多いと感じ、愛犬家住宅のモデルハウスを2023年1月にオープン。愛犬家と一緒に快適な家づくりができる場の提供をスタートされています。

また、住まいづくりナビセンターが運営する「リフォーム評価ナビ」に2022年10月に登録され、ウエブ集客にも力をいれていらっしゃると思います。お客様の口コミが特徴のリフォーム評価ナビは、検索上位に表示されるSEO対策に強いため選択されたとのことでした。

**自治体とも連携して
耐震化を推進中**

福岡市の組合員6社が中心となつて取り組む「福岡市耐震推進協議会」の副会長でもある同社田中社長。協議会では、自治体が主催する市民セミナーの講師や耐震相談会の相談役を通じて、耐震化に取り組まれています。

「耐震診断や補強をされる方の大半は60代以上です。築年数も旧耐震のお客様がほぼ100%に近いですね。たまに81-00住宅の中古住宅を検討されて、耐震性を確認したいという方がおりますが、補強の成約まではなかなか至りません」と、田中社長。旧耐震の住宅に対してのみ補助金を出している自治体が

大半ですが、今後は81-00住宅を対象とした補助金を自治体にぜひ働きかけていきたいと語って頂きました。

光栄建設様からの一言



▶代表取締役 田中泰浩様

いつどこで大きな地震が発生するかわからないからこそ、住宅の耐震化は安心して安全な住まいづくりに欠かせないと考えています。『house plus+』という屋号の通り、耐震性にプラスαの独自性を持たせ、当社に任せて良かったと言って頂けるような提案を心掛けて参ります。(田中社長)

愛犬家住宅やリフォーム評価ナビなど、どんどん新たな取組を始めている田中社長。取組むまでに情報を集め、私にもたくさんのアイデアをいただきます。田中社長に負けないように、私も多くの情報を発信・提案していきたいと思っております。

(事務局/平井)

